体験の風をおこそう

ウィークエンドな森あそび3 実施報告書

家族で自然と親しむ事業
「ウィークエンドな森あそび」。
「雪であそぼ！」をテーマに
雪上運動会・そり・雪遊びを行いました。

概 要

1.趣　　旨　家族が自然体験を通じて触れ合う機会が減少する中で、
　　当施設で実施可能な自然体験の機会および場を提供する。
2.主　　催　独立行政法人国立青少年教育振興機構
　　国立那須甲子青少年自然の家
3.日　　時　令和4年1月22日（土）9：45～13：00
4.開催場所　国立那須甲子青少年自然の家　営火場C
5.対　　象　5歳～小学2年生の子どもとその保護者
6.参加者数　6家族22名（子ども12名、保護者10名）

プログラム1：雪上運動会

少し雪が降っており、肌寒かったにも
かかわらず、相手チームに勝つために、
全力で雪上運動会！
雪玉入れと綱引きを行い、
な・ん・と！！引き分け！！！
そり滑りに向けて、体が温まりました。

プログラム2：そり・雪遊び

通常のそりとスノーチューブやエアーボードも使って
各々がそり滑りを楽しみました。
雪遊びでは、かわいい雪だるまづくり
ふわふわな雪へのジャンプなど、
家族ごとの時間を楽しみました。

参加者の声

- 自然を身近に感じられた。（子ども）
- 雪（特に、そり滑り）がこんなに楽しいことに驚いた。（子ども）
- 家ではここまで雪遊びに没頭できないと思います。（大人）

担当者より

今回は「家族の時間」を大切にしました。応援する姿、雪だるまを一緒に作る姿を見ることができ、
微笑ましかったです！これからもコロナときちんと向き合い、対策を施して、
子どもたちに素敵な体験を届けていきたいと思います。
（久保田・古谷）